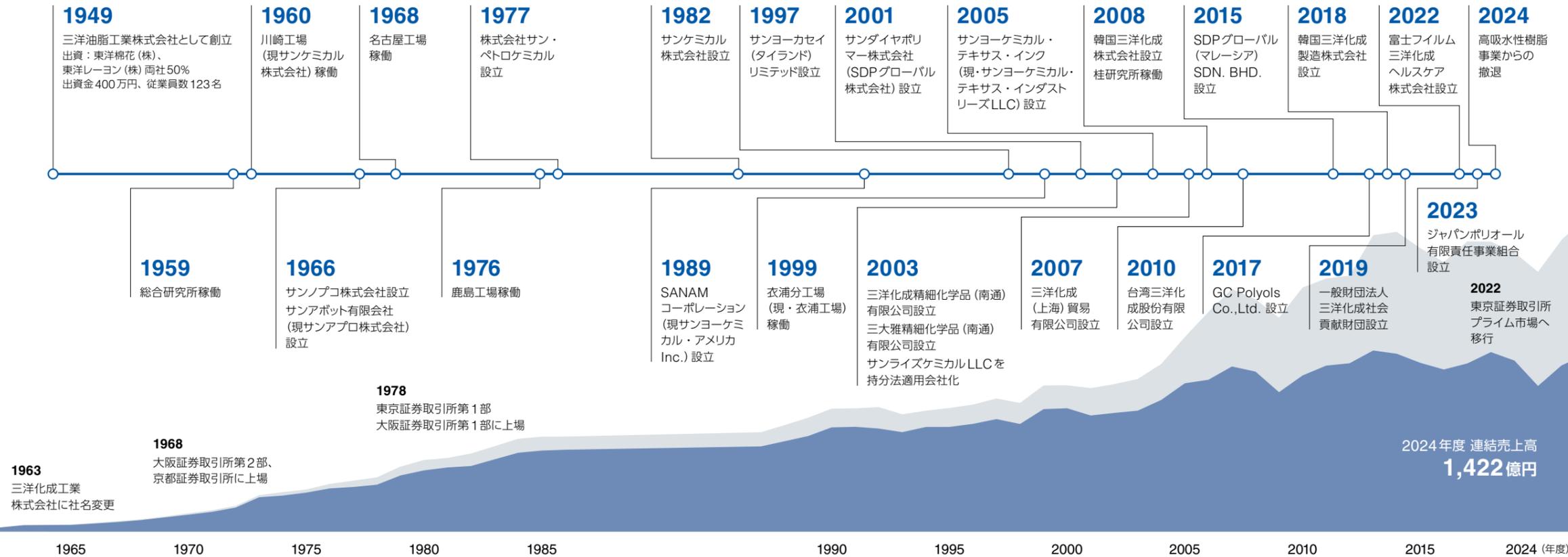


## 技術力と事業の軌跡

1907年、京都の地において前身である「多田石鹼油脂製造所」を創業。限られた資源の中、我が国初のオリーブ石鹼を製造するなど、技術開発力の強化に力を注ぎ、今なお連続と続く界面制御技術の基礎を築いてきました。

1949年、多田石鹼油脂製造所の意思を受け継いだ三洋油脂工業（現三洋化成工業株式会社）を創立し、培ってきた界面制御技術と顧客に密着した製品開発により、約3,000種類の機能化学品を提供するまでになりました。



## 事業ポートフォリオの推移

